

2025年(令和7年)1月1日 水曜日

〔企画特集〕

2025 TOP Interview



昨年2セット目となるマルチビーム測深機を導入

に付けることができる。在学中も給与が保証され、卒業後は職場に復帰する仕組み。現在1人がこの制度を利用して

全従業員に占める女性比率は約2割。うち2人を除いて技術職として活躍している。「測量は屋外の作業が多いというイメージがある一方で、『体力勝負なのは』などと心配する人もいますが、最新機器を駆使することで、かつ

人口減少などを背景に、公共投資の規模感が見通せない状況も危惧される中、「技術力と組織力の向上、および積極的な投資により、業界のトップランナーを目指したい」と前を向いた。



株式会社
石川技研コンサルタント

株式会社 石川技研コンサルタント
〒010-0955 秋田市山王中島町4-1
TEL.018-864-4967
1973年6月25日創業
測量・建設・補償コンサルタント



石川技研コンサルタント 代表取締役

井上 秀次郎 氏

最新機器と技術を駆使、現場で女性も活躍

道路や橋、港湾施設をはじめとする土木工事の測量・設計業務、工事の補償に関するコンサルタント業務などを通じて、インフラ整備を幅広くサポートする。国や県などの公共工事関連の業務が大半を占める。技術力を磨き、最新のICT機器を活用することで、県民の生活基盤を支えている。

特に強みとしているのが海洋測量だ。自社で測量船を保有。多数の音波を広範囲に照射して海底の地形を精緻に測定するマルチビーム測深機のほか、高精度ドローンや高度解析システムなども導入している。

本県沖の洋上風力発電事業の海底調査にも携わる。洋上風力発電は調査・開発から建設、運転、撤去まで事業期間が30年にわたり、この間、施設の保守点検が欠かせない。風車の基礎や送電ケーブルなど海中の設備は多く、点検項目も多岐にわたるため、地元企業として多様な業務に関わりたいと考えている。「われわれの強みを発揮して発電事業に貢献できると思います」と自信をのぞかせる。

最新技術を積極的に取り入れていることから、「変化に対応できる人材を育てたい」と考え、社員教育に力を入れる。測量専門学校への派遣制度を設けており、社員は専門学校に通って技術や資格を身